

管路点検を“すぐに・楽に”



—現場で即時点検・即判断を実現—

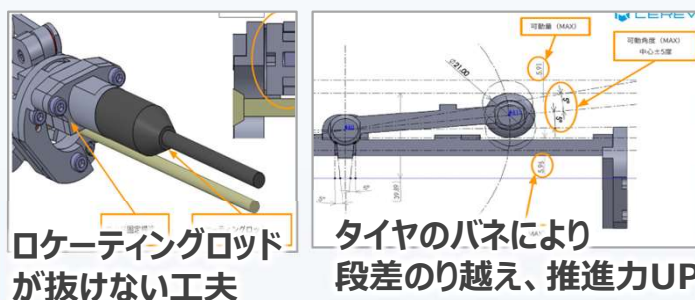
現状作業における課題

- ✓ 通線ヒモが通らない場合、人力押込みとなり
身体的負荷が大きい
- ✓ 点検完了まで約1カ月以上を要する
- ✓ 点検費用増加・工期延伸のリスクが発生



解決方法の検討

- ✓ その場で即点検が可能
- ✓ 不通過要因をリアルタイムに把握可能
- ✓ 身体的負荷を軽減



管路点検ツールの機器構成



ファイバースコープ

ロケーティングロッド

スキッド部

管路点検ツールの特徴

- ① **人力による点検可能距離向上**
人力押込みにより最大130mの点検可能(従来:約50m)
- ② **身体負荷を大幅に軽減**
ローラー+バネ構造で推進力向上、スムーズな挿入を実現
- ③ **即時点検**
準備不要、その場で即点検が可能
- ④ **スキルレス化**
リアルタイムの管内映像確認により、誰でも原因特定が可能

